防犯対策（防犯ブザー等による防犯対策、ナンバープレート盗難防止、自転車盗難防止）

に関するアンケート　リサーチプラン

1. 調査の背景と目的

大阪府においては、「子どもや女性を狙った性犯罪」「ひったくり・路上強盗」「自動車関連犯罪」「特殊詐欺」を大阪重点犯罪とし、地域の犯罪情勢に即した犯罪抑止総合対策を推進している。

しかし、大阪重点犯罪の認知件数は、全国的に見ると依然として高水準で推移していることから、防犯対策に対する府民ニーズを確認し、より効果的な取組みを推進していくことを目的に本調査を実施する。

1. 調査仮説

　【防犯ブザー等による防犯対策】

仮説1　路上等で過去に犯罪被害にあった人、危険を感じたことのある人又は身近な人が犯罪被害にあったことがある人は、危険を感じたことのない人に比べ、防犯ブザーの所持等、何らかの対策を取っている割合が高い。

　【ナンバープレート盗難防止】

仮説1　ナンバープレート盗難防止ネジを付けていない人又はわからない人は、付けている人に比べ、ナンバープレート盗の状況等を認識していない割合が高い。

　【自転車盗難防止】

仮説1　20代までの若者は、30代以上の人に比べ自転車の鍵を施錠しない。

仮説2　使用している自転車の購入価格が高い人ほど、自転車の鍵を常に施錠している。

仮説3　子どものいる家庭では、子どもが小学生の間は親が自転車の施錠について話し合いをしているが、中学生以上になるとほとんどしない。

1. 調査対象　国勢調査結果（平成27年）に基づいた、性・年代・居住地（４地域）の割合で割り付けた、18歳以上の大阪府民1,000サンプル
2. 質問項目

予備質問　６問

SC1　　性別

SC2　　年齢

SC3　　都道府県

SC4　　市町村

SC5　　区（大阪市、堺市のみ）

SC6　　職業

本質問　20問

Q1　　外出の際、路上等で危険な目にあったことがある、危険を感じたことがある又は身近な人が危険な目にあったことがあるか（MA）

Q2　　外出時に防犯対策を取っているか（MA）

Q3　　【Q2防犯ブザーを携帯している人】防犯ブザーを使用しようとした又はしたことが

あるか（SA）

Q4　　【Q2防犯ブザーを携帯していない人】防犯ブザーを使用しない理由（MA）

Q5　　【Q2防犯ブザーを携帯していない人】防犯ブザーの所持経験（SA）

Q6　　【Q5防犯ブザーを過去持っていた人】持たなくなった時期（SA）

Q7　　 世帯での車の所有状況及び自身が運転するか否か（SA）

Q8　　【Q7車所有者のみ】ナンバープレート盗難防止ネジの認知と導入状況（SA）

Q9　　【Q8ナンバープレート盗難防止ネジを導入していない人】

ナンバープレート盗難防止ネジを付けていない理由（MA）

Q10　 ナンバープレート盗の発生状況及び盗まれたナンバープレートがどのように犯罪に

使用されるかの認知（SA）

　　Q11　 【ナンバープレート盗の実態を説明後】ナンバープレート盗難防止ネジの導入意向（SA）

　　Q12　 自転車の利用頻度（SA）

Q13　【Q12自転車に乗る人】過去自転車盗にあった経験と盗難届提出の有無（SA）

　　Q14　【Q12自転車に乗る人】使用している自転車の価格帯（SA）

　　Q15　【Q12自転車に乗る人】自転車の施錠状況（SA）

Ｑ16　【Q15鍵をかけていない時もある人】自転車の鍵をかけない場所（MA）

Q17　【Q15鍵をかけていない時もある人】鍵をかけずに自転車から離れる時間（SA）

Ｑ18　【Q15いつも鍵をかけていない人】施錠しない理由（MA）

　　Q19　子どもの有無（MA）

　　Q20　【Q19子どもがいる人】この1年間で、子どもに対する自転車の施錠指導の有無（SA）

1. 検証方法

【防犯ブザー等による防犯対策】

仮説1　Q1×Q2

【ナンバープレート盗難防止】

　　仮説1　Q8×Q10

【自転車盗難防止】

仮説1　SC2×Q15

仮説2　Q14×Q15

仮説3　Q19×Q20